



2011年1月26日(水) スマイルシード学習会についての報告  
テーマ「支援の必要な子どもたちの放課後と長期休暇を考える」

地域の小・中学校の支援学級在籍保護者、そして箕面支援、豊中支援の保護者の皆さんと、グループワーク形式で学習交流の機会を持ちました。子どもの年齢も、通う学校やその種別も違いますが、箕面に暮らす障がいのある子どもを持つ多くの家族を身近に感じることができ、心強く思いました。お忙しい中を参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。今回は参加いただけなかった皆さんとも、是非次の機会にご一緒できればと思います。ワークでは、「日々の生活で困っていること」をとりあげました。当日出てきた様々な「困ったこと」を抜粋し以下に紹介します。

(参加者:41名)

	困っていること	提案・解決案・感想
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の休みの日は生活がボーっとしてしまう</li> <li>・学校を休んだ時ショートステイ等に行ってくれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドヘルパーさんと外に出る</li> <li>・家族の誰かと外に散歩に出る</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがテレビばかり観ている</li> <li>・子どもの放課後、学校のこと</li> <li>・春休みが長いので今から憂鬱</li> <li>・夏休みがつらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みや放課後、とにかく車で出かけますテレビから離すためにも</li> <li>・子どもが安心して行ける場所があれば</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に依頼するのにためらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばって行政にもっていっても、肩すかしをくうとよけい内にこもりたくなります</li> <li>・抱え込む気持ち、わかります</li> <li>・ためらう気持ち、共感</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強する場所があれば</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの時間が長い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了する時間を納得させる タイマー?アラーム?何が有効か?</li> <li>・放課後の過ごせる場所があれば</li> <li>・他に楽しめる事、楽しめる場所を充実させる</li> </ul>
⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きくなるにつれ、子ども同志の触れ合う機会が減っていくのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校でできるならクラブ活動に参加する 仲間意識がめばえる</li> </ul>
⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDとテレビを観てばかり</li> <li>・土日に子どもがゲーム漬け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に楽しい事があることを一緒に見つけ変えていく様にする</li> <li>・ゲームの時間タイマーなどを使って決める</li> <li>・ゲーム→パソコンに変えた (パソコンだと他の使い方も出来ると思って)</li> <li>・公園など外に連れて行っては</li> </ul>

## ふりかえりシートを通しての気づき

### 本日参加して

大変良かった	20人	
良かった	7人	
ふつう	0人	
悪かった	0人	計 27人

### 今回の学習会で、気づきや 発見はありましたか？

あった	25人	
わからない	0人	
特になかった	1人	
回答なし	1人	計 27人

### 参加された方の「発見」は？

皆情報を探しているということ。

そして、同じ悩みを持つ仲間がたくさんいて共感できた、という意見が多数でした。

問題解決することだけでなく共有すること、知ることが大切だと思います。

### 参加者の感想

- ・悩みはみんな同じなんだなあ～と思いました。
- ・私と似たような困りごとがある人がたくさんいるんだなあと…思いました。  
(放課後のこと、学童のこと)
- ・何でもいろいろな方向から考えてみるのが大事と思いました。
- ・子供の障害や年齢は様々でも、悩みを分かち合ったり、共感しあったりできるので、年代を超えて集まれる学習会は非常に意義深いと思う。
- ・同じような悩みを共感できる。情報が聞けること。
- ・問題を解決することだけでなく、共有すること、知ること、とても大切ということ。
- ・学校だけではなかなか情報を得られないので、同じ地域に住む方と問題を共有し合えるのは、とても意味のある良いこと。
- ・居場所にみんな困っているということ。
- ・本当に欲しい情報は、いつも保護者の方からもらえる。困った事があれば話しを聞いてもらおう。
- ・親同士で団結してできることは、たくさんあるのではないかと思います。
- ・子どもが「あいた時間」をどう過ごすかという問題の根の深さを改めて思い知りました。「自己実現」に向けて夢を持って不安と闘いながら世の中に出ていくという事は子どもにも必要なこと。親になって大人になっても、そうした社会参加は大切な事だと思います。
- ・このような動きが市や行政にどうつながっていくのか…つながって、いろいろなことの改善になっていったらいいなと思いました。
- ・もっとテーマにそった情報交換が今後も必要。

## その他 困っている事

パニックが多い

こだわりがある

宿題がしんどい



兄弟の関係や  
対応について

同じことを  
何回も質問する

### スマイルシードより感想

今回の学習会では時間の制約から、テーマにそった具体的な情報交換までには残念ながら足りませんでした。今回は「問題」についての種まきということで、今後も継続して具体的な学習交流会を計画予定ですので、この種まきをムダにしないで、ニーズや問題点をひろい、行政や事業所などに届けていきたいと考えています。

学習会を通して、ゆうやけの会からの参加者が多く、「困ったこと」についても現実の子どもの障がいと向きあう中での困った声が多く、子どもの成長と共に課題が変化していくことを改めて感じました。

保護者の体調不良という声も多数あり、そんな状況においても福祉サービスを使うことについてためらうという声に共感も多く、私たち家族のもつ悩みも根深いものを感じました。

最後に、学習会開催にあたりお世話になった永田さん、市民活動センターの皆様、当日お手伝い下さった方々、ありがとうございました。

### ファシリテーター 永田千砂さんより

スマイルシードの皆さんをはじめ、参加者の皆さんにたくさんのエネルギーをいただきました。またこの機会をいただけたこと、心から感謝します。

障害をもつ子どもたちの学齢の枠をこえ、様々な「困っていること」を話し合いました。各グループの発表により40名以上の参加者と情報の共有を限られた時間の中でできたこと。話し合われた言葉の中に、またその時々発言の中に、『明日、今日よりも少ししあわせに生きていくにはどうしていけばいいのか』のヒントがたくさん詰まっていました。

そして、時代が変わっても悩んでいることがあまり変わっていないことにも気がつきました。

この出会いや気づきをきっかけに少しずつつながり、この学習会で得たヒントをもとに『未来を担う子どもたちが自分らしく生きていくため』の話をかさね、実現していこうと再確認しました。本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いします。

\* ブログ：ちまこぼ日記 \* ツイッター：chimachimakobo ぜひご覧ください♪  
（「障害者とともに」を考える企画グループちまちま工房 <http://www.chima-chima.com>）

ホームページ  
できました

